



Arai News

(株)新井広武 〒330埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825-7



フレddie・スペンサーを知らないとおくれるよ!

79年8月号の☎ニュースで一度とり上げた事がありますが、フレddie・スペンサーというのは、やはり大したもんです。

△年も1月4日、英国のブランズハッチで恒例の英米対抗ロードレース戦が6万の大観衆を集めて開かれました。ここ数年このレースの見せ場は、ケニー・ロバーツとバリー・シーンのデッドヒートと相場がきまっています。今年もこの英米を代表する2人のデッドヒートが繰りひろげられました。でもこのデッドヒートは2人の9秒も前にゴールにとび込んだ若手18才のフレddie・スペンサーにすっかりくわれちゃったようです。

しかも、このレースは、フレddieにとって初めてのコースでの初の海外遠征レースというだからおどろきです。ロバーツもシーンもマジックアオ。つづく第2ヒートでもロバーツに7秒差をつけて優勝。ブランズハッチの6万人はもう“フレddie偉い!”と大さわぎ!

☎が初めてフレddieに目をつけたのは2年前、まだ16才の時です。ニューハンブシャーの草レースでしたが、レース中、犬がとび出し、コースを横切ったんです。皆びっくりして、フルブレーキングする者、グリーンにとび出す者、大さわぎでした。所が中にただ1人、少しラインを変えただけで、スロットルはあけたまま、わずか1m程の間隔で犬をかわして走りつづけ、頭をとったのがいたんです。これがフレddie・スペンサー、ルイジアナ出身の16才、ノービスライダーだったというわけ。

△開の時、犬がとび出せばあわてるのは当たり前。所が、この16才の坊やは、とっさに犬のコースとスピードを見て、犬をよけるラインを説んだんですね!これは、ただものではないというので、まだノービスのフレddieに声をかけ、☎ライダーに加えたわけです。たった16才で、こうもクールに計算出来るなんて、ニクたらしい程ですが、会ってみると、ほんとにあどけない、可

愛い順の坊やです。今年18才のフレddie、世界的スーパースターへの道を着実に歩き始めました。読者の皆さん、フレddie・スペンサーを知らないでいると、おくれますよ。世の中移り変わりが激しいんだから。

所で、2年前、コースにとび出した犬のおかげで、フレddieを見つけたけど、あの犬まだ生きてるかね?

新発売  **用品 2点**

サーキットキャップ →
紺に白のししゅう文字。
フリーサイズ。¥2,000。



← ☎ 40cmステッカー
Racing Specialties
ステッカー
セットで¥1,200。
トラックやバンのドレスアップに最適です。

●共に送料は¥140です。

●カタログご希望の方は、切手80円分同封の上、お申しつけください。